廃電線ストリッピングマシン

NC-CV325-5

取扱説明書

（20131016 版）

油圧式作業工具総合メーカー

株式会社　西田製作所

このたびは当社製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品の取扱方法や注意事項などが記載されています。ご使用の際は、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用されますようお願いいたします。またお読みになった後は、使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご使用の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが「⚠警告」は誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意、「⚠注意」は誤った取扱いをしたときに使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意として記載しています。なお「⚠注意」に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

目次

仕様・・・・・・・・・・ 2
各部の名称・・・・・・・ 3
操作部の説明・・・・・・ 3
使用方法・・・・・・・・ 4
刃物の交換・・・・・・・10
使用上の注意・・・・・・12
保守・点検・・・・・・・13
アフターサービス・・・・13

仕様

１．仕様

製 品 名	廃電線ストリッピングマシン		
型式番号	ＮＣ－ＣＶ３２５－５		
切　　刃 適応電線	ＩＶ線	６００Ｖビニル絶縁電線。	3.5mm^2～325mm^2
	ＣＶ線	６００V 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース丸形多心ケーブルを単心にしたもの。	8mm^2～325mm^2
	ＣＶＴ線	６００V 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースより合わせ形３心ケーブル（トリプレックス形）を単心にしたもの。	
	ＶＶＲ （ＳＶ）線	６００V ビニル絶縁ビニルシース丸形多心ケーブルを単心にしたもの。	
	上記電線と同等で、導体が８mm^2～３２５mm^{2}であり、外被の仕上外径がφ31mm以下のもの。		
	ＶＶＦ （ＶＡ）線	６００V ビニル絶縁ビニルシース平形ケーブル（外側被覆付２芯、３芯）	φ1.6、φ2.0、φ2.6
ローラ 適応電線	ＶＶＦ （ＶＡ）線	６００V ビニル絶縁ビニルシース平形ケーブル（2 芯 外側被覆付）１回剥き	φ1.6、φ2.0
		単芯（2 芯、3 芯の外側被覆剥き後）	φ1.6、φ2.0、φ2.6
処理能力	19m／min（※皮むきする電線の状態で変動します）		
寸　　法	高さ 500 ㎜×長さ 661 ㎜×幅 228 ㎜		
製品質量	50.0kg		
供給電源	AC100V　50／60Hz		
モ ー タ	単相モータ　400W		

「⚠注意」

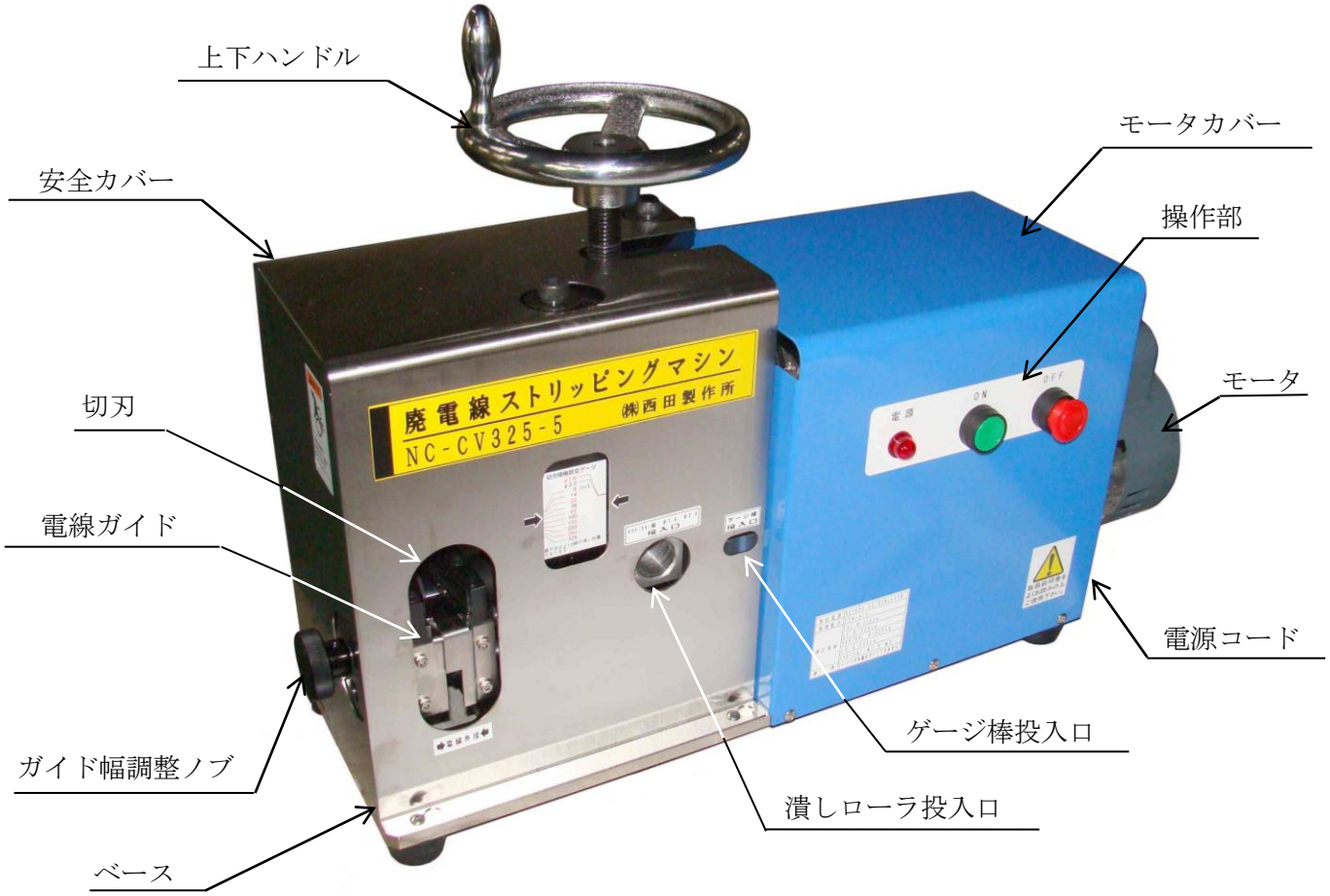
CV／VVR(ＳＶ)線の外側被覆（シース）は切刃ではカットできません。

VVF(VA) φ1.6、φ2.0、φ2.6 はローラにて潰すことにより、被覆を分離させることができます。φ1.6、φ2.0 の２芯は１回で被覆を剥くことができます。

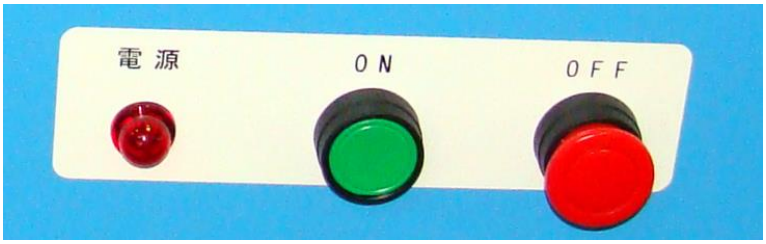
２．標準付属品

ゲージ棒（φ1.6、φ2.0 用）１個
六角レンチ　　４mm　　１本
革手袋　　１双

各部の名称



操作部の説明



上記写真内左から

電源ランプ（Ｌ１）・・・・・・・電源を供給した時、点灯〔常時点灯〕

ＯＮ押ボタンスイッチ（ＰＢ１）・・・モータの起動スイッチ

ＯＦＦ押ボタンスイッチ（ＰＢ２）・・モータの停止スイッチ（非常停止スイッチと兼用）

使用方法

1．本機を堅牢なテーブル、架台に設置してください。電線投入口の前方および排出口の後方に皮むきする電線長さ分のスペースを確保してください。また排出口の後方に障害物がないか確認してください。

「⚠注意」スペースが少ない、あるいは後方に傷害物があると排出された電線が機械本体を押すような状態となり、テーブルから落ちたり思わぬ方向に移動したりするおそれがありますので充分注意してください。

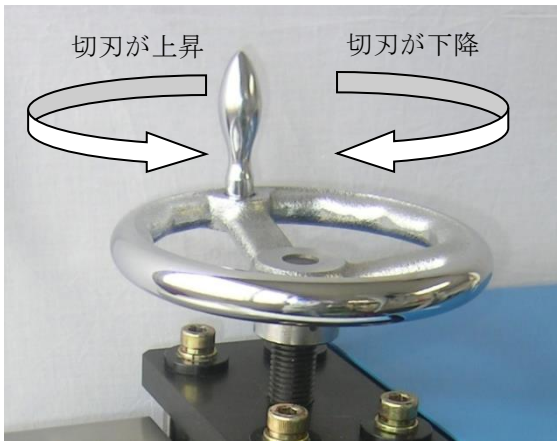
2．電源を接続し、操作部の電源ランプが点灯しているのを確認してください。電源は AC100V 50／60Hz 1500W 以上をご使用ください。細い延長コードなどを使用されますと電圧降下のためモータの性能が低下し被覆が剥けないことがありますので、電源コンセントに電源コードを直接差し込んでご使用ください。

「⚠警告」 1) 濡れた手で電源コードに触れないでください。
2) 雨の中や濡れた所で使用しないでください。
3) 必ず電源コードのアースを接続してください。

3．被覆を剥く手順

（1）切刃を使用して CVT, CV, VVR(SV), IV, VVF(VA)の被覆を剥く場合

(a)上部の上下ハンドルを回し、高さゲージの矢印と軸受ホルダ（上）正面の刃先間隔設定ゲージの目盛りを皮剥きする電線のサイズに合わせてください。



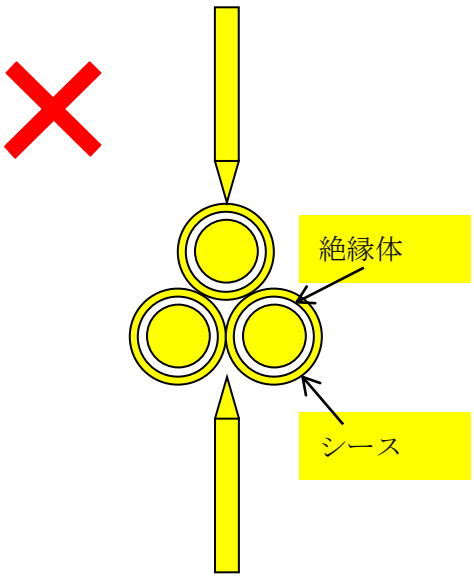
「⚠注意」 電線サイズと高さゲージの目盛りを合わせてください。

（例）電線サイズ「CVT325」であれば高さゲージも「325」に合わせてください。電線サイズと高さゲージが合ってないと皮むきができないか、あるいは刃物の破損を起こす場合があります。VVF(VA)ケーブルの切断は目盛りの 8㎟ 以下で、切刃の刃先の間隔が心線の径より少し小さめになるよう調整してください。

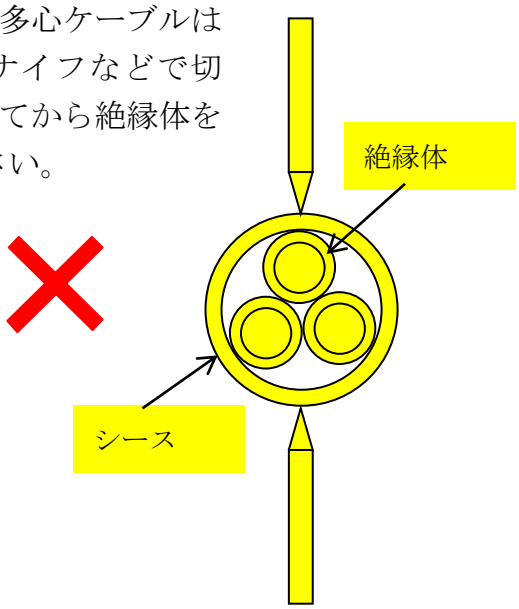
φ3.5 の IV 線を切断は VVF ケーブルと同じように、目盛りの 8㎟以下で、切刃の刃先の間隔が心線の径より少し小さめになるよう調整してください。

「⚠注意」　切刃を切断する心線の径より過度に下げますと、切刃やシャフトが破損するおそれがありますので注意してください。
又、刃物の寿命が短くなる恐れもありますので、適正な設定を行って下さい。

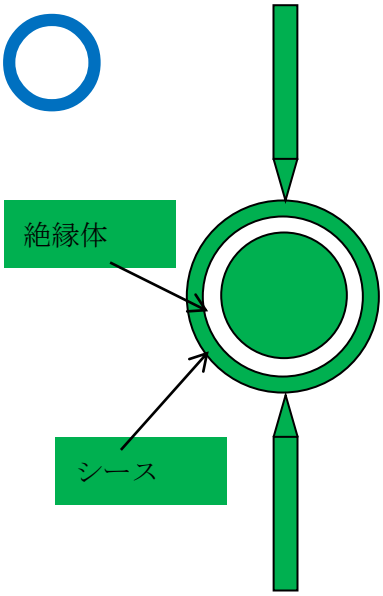
① ＣＶＴは単心にしてから切断してください。



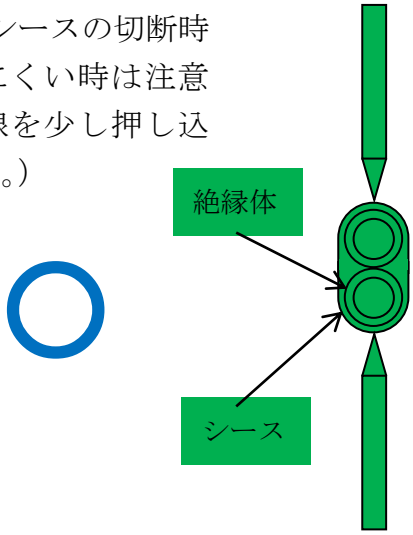
② ＣＶ、ＶＶＲの多心ケーブルはシースを電工ナイフなどで切断し、単心にしてから絶縁体を切断してください。



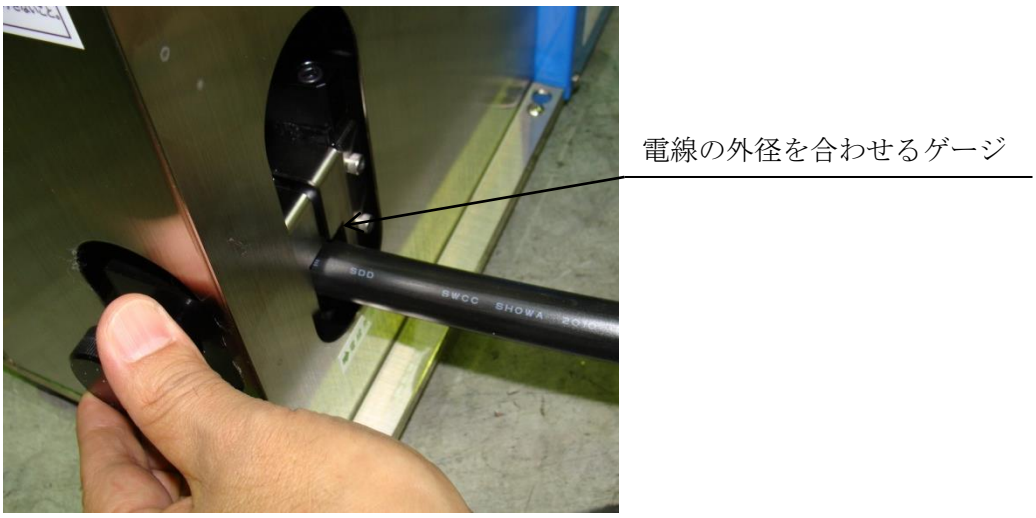
③ ＩＶ、ＣＶ（単心）のケーブルはシース絶縁体を同時に切断してください。



④ ＶＶＦ（ＶＡ）はシースをまず切断し、単心にしてからもう一度絶縁体を切断してください。（シースの切断時電線が進みにくい時は注意しながら電線を少し押し込んでください。）



(b) 電線投入口の電線ガイドの下部に電線外径を合わせるゲージがあります。このゲージに電線を差し込み、ガイド幅調整ノブを回して電線の外径に合うよう電線ガイドの幅を調整してください。



(c) 操作部のＯＮ押ボタンスイッチを押してください。モータが回転して上下の切刃が回転しますので、電線を刃先の中央を目掛けて押し込んでください。電線は送られながら、上下にスリットを入れ被覆を左右に分割します。電線被覆をカットした時、切込み深さが浅く手で被覆をむけない場合は、上下ハンドルを 1/4 回転ほど回し、切刃を下降させて切ってみてください。（下げ過ぎないよう注意してください。）

「⚠警告」電線の投入口には絶対に手･指などを入れないでください。またネクタイ、マフラー、軍手など巻き込まれやすいものを着用して作業を行なわないでください。巻き込まれて死亡あるいは重傷を負うおそれがあります

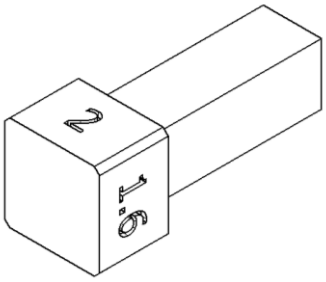
(d) 電線が送り出されたら操作部のＯＦＦ押ボタンスイッチを押しモータを止めてください。送り出された電線の被覆を引き裂いて、銅導体を取り出してください。

「⚠注意」電線の被覆をはがす時あるいは中の銅導体を取り出す時、銅導体に切刃が食い込んだ部分がとがった状態になっているため触れるとけがを負うことがありますので、皮手袋などを着用し充分に注意して作業を行なってください。

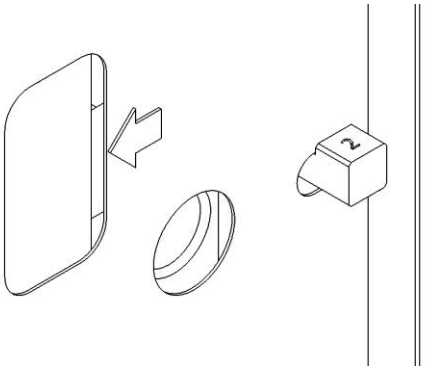
（２）潰しローラを使用して VVF(VA)線の被覆を剥く場合

(a) VVF（VA）線が対象となります。φ1.6　2 芯、φ2　2 芯 を潰しローラに通すと１回で、絶縁体とシースの両方をストリッピングすることができます。
切刃でも被覆は剥けますが、シースと絶縁体を別々に切るため２回切りとなります。
φ2.6　2 芯、φ1.6　3 芯、φ2.0　3 芯、φ2.6　3 芯は切刃でシースを剥いた後、潰しローラあるいは切刃で絶縁体を切り、被覆を剥いてください。

(b) VVF(VA)のφ1.6　2 芯、φ2.0　2 芯　用のゲージ棒を各々のサイズに合わせてゲージ棒投入口に差し込み上下ハンドルを下降させ、高さゲージをしっかりと挟み込んでください。ゲージ棒は被覆剥きするサイズの刻印が上側に見えるように差し込んでください。



ゲージ棒　φ1.6、φ2.0 用



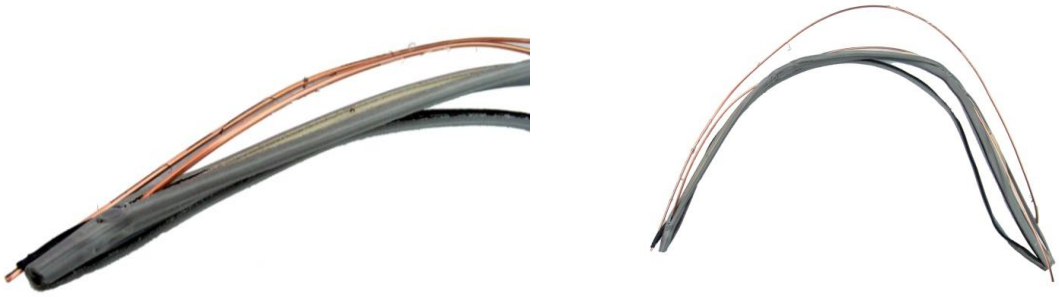
被覆剥きする電線のサイズが上側から見えるように装着。この図はφ2.0 の被覆剥きをする場合。

(c) 電源をＯＮしてローラを回転させ、潰しローラ投入口より電線を挿入します。

「⚠警告」電線の投入口には絶対に手･指などを入れないでください。またネクタイ、マフラー、軍手など巻き込まれやすいものを着用して作業を行なわないでください。巻き込まれて死亡あるいは重傷を負うおそれがあります

(d) 電線が送り出されたら操作部のＯＦＦ押ボタンスイッチを押しモータを止めてください。送り出された電線の被覆を引き裂いて、銅導体を取り出してください。

「⚠注意」電線の被覆をはがす時あるいは中の銅導体を取り出す時、銅導体に切刃が食い込んだ部分がとがった状態になっているため触れるとけがを負うことがありますので、皮手袋などを着用し充分に注意して作業を行なってください。



潰しローラに通したVA線

4．被覆剥き作業中に、切刃ならびに潰しローラの設定位置が低すぎた、あるいは何か異物を巻きこんだりしてモータが止まった場合は、すぐにＯＦＦ押ボタンを押してモータを停止させてください。上下ハンドルを回して上昇させ電線あるいは異物を取り除いた後、再度被覆剥きをする電線の高さに合わせ作業を行なってください。

5．連続して被覆剥き作業を行なうとモータが過熱して被覆剥きの能力が低下することがあります。モータが過熱した場合は温度が下がるまで適度に休ませてご使用ください。モータが過熱しすぎるとモータに内蔵されている保護回路が働き、モータが停止することがあります。その場合はすぐにモータを作動させようとしても温度が下がるまで動かないことがありますので、モータの温度が下がるのを待ってからご使用いただくようお願いいたします。

6．VVF(VA)線など、ある程度ねじれた状態でも被覆剥きは可能ですが、極端に曲がっている、ねじれて幾重にも重なっている状態では被覆剥きが出来ない場合もあります。そういった場合は出来るだけ曲がり、ねじれ、重なりがないようにしてから被覆剥きを行なうようにしてください。

7．被覆剥き作業中は、作業に集中し何か異常が起こっていないか常に注意してください。また、電線を投入する際は手指や身につけたものが巻き込まれないよう充分に注意して作業を行なってください。

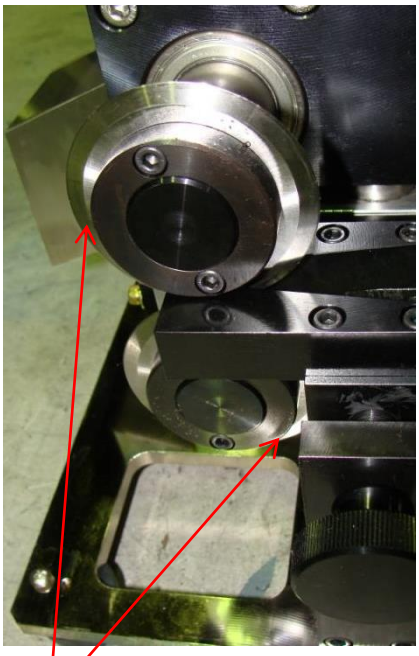
8．潰しローラで被覆剥きをした後、銅線が熱くなっていますので被覆と銅導体を分別作業する際は、冷めるまで待つか手袋など着用して作業を行なってください。また、切刃で被覆剥きした銅導体は切刃が食い込んでとがった状態になっていますので、手を切らないように分別作業を行なう場合は手袋を着用して作業してください。

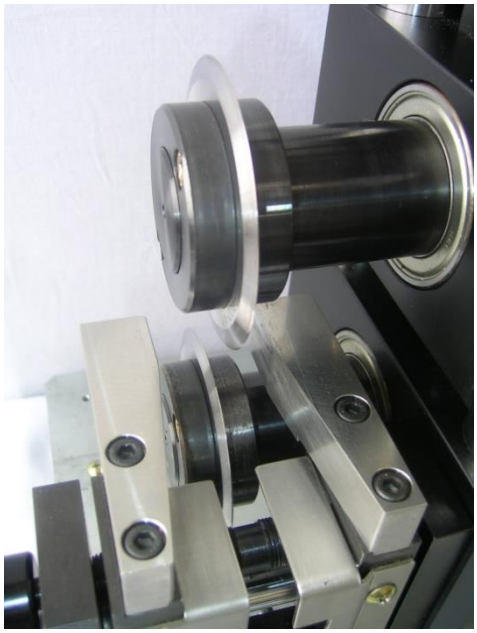
9．潰しローラに油分が付着しますと電線が引き込まれなくなることがあります。もし、油分が付着したときはカバーをはずし、電源コードを抜いて潰しローラが回転しないことを確認してから、付着した油分をきれいに拭き取ってください。

刃物の交換

1．コンセントより電源コードをはずして本機への電源供給を切ってください。
2．電源ランプが消灯しているのを確認してください。
3．安全カバーをはずしてください。
安全カバーの固定ネジ（Ｍ４）４ヶ所をプラスドライバでゆるめてください。安全カバーをノブ側にずらして固定ネジの頭と安全カバーの穴をあわせて持上げるように傾けると安全カバーをはずすことができます。（固定ネジはとりはずさなくてもゆるめるだけではずせます。）

4．切断部が見えましたら、ガイド幅調整ノブを回し電線ガイドを最大まで広げ、切刃を取り出しやすくしてください。





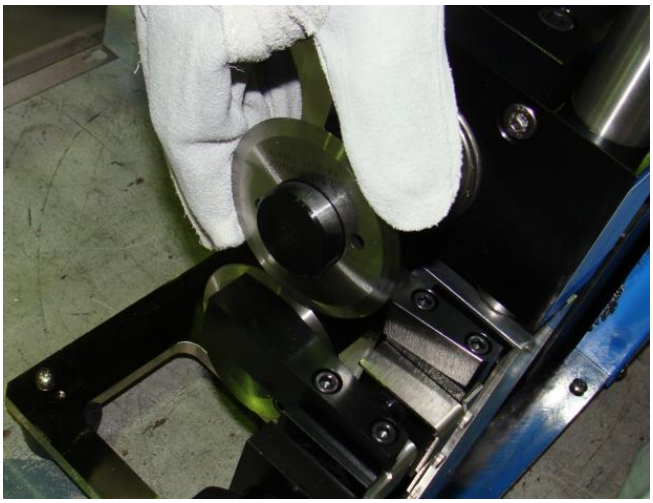
電線ガイドを広げておく

５．切刃の固定ネジ（Ｍ５　２本）を六角レンチ４ｍｍでゆるめてはずしてください。

６．フランジをはずしてください。

７．刃物をはずして刃物を交換してください。

「⚠警告」切刃の交換の際は皮手袋などを着用し指などにけがをしないよう充分に注意して作業を行なってください。



８．取付けは、7.より逆の手順で行います。
９．フランジを取付け、切刃固定ネジでフランジ・切刃をしっかりと固定してください。
10. 安全カバーを取付け、カバー固定ネジをしっかりと締めておいてください。
11. 各部の取付けネジがゆるんでいないか確認してください。

「⚠警告」　1）切刃は純正部品を使用してください。
　　2）切刃の刃部を素手で持たないでください。

使用上の注意

１．適応電線ならびに適応電線に準じた電線以外の皮むきはできません。
２．ＣＶ／ＶＶＲ（ＳＶ）線の外側被覆はカットできません。
３．端末に圧着端子、コネクタ等のついた電線の皮むきを行なわないでください。刃物の損傷のみならず、本機を破損する恐れがあります。圧着端子・コネクタのついた部分は切断のうえご使用ください。
４．モルタルなどの付着した電線の皮むきはできません。
５．本機の投入する電線の長さは、取り回しを考慮すると以下の長さが適当です。

電線サイズ	長さ
３.５ ～ ３８ｍｍ^2	２ｍ以下
６０～３２５ｍｍ^2	１ｍ以下
VVF（VA）線	３ｍ以下

６．曲がった電線は、できるだけ直線になるよう矯正したうえで皮むきを行なってください。矯正できないような曲がった箇所はケーブルカッタなどで切断してからご使用ください。
７．モータの回転中は絶対に安全カバー内に手・指を入れないでください。
８．停止スイッチを押してもモータは慣性でしばらく回転していますので、停止スイッチを押してもすぐに刃に触れたりすることは絶対にしないでください。
９．冬期、電線被覆の樹脂が硬くなり皮むきが円滑にできない場合があります。電線が進まない場合は、できるだけ室内の暖かいところで電線を暖めてから作業を行なってください。
10. 使用中に何らかの異常な音、振動、モータの過熱などがあった場合はすぐに運転を中止し、各部の点検を行なってください。もし異常の原因がわからないときは当社まで返送していただき点検のご依頼くださいますようお願いいたします。

保守・点検

1．本機のご使用前およびご使用後には必ず各部の点検を行なってください。
2．ご使用後は必ず本体の汚れを落とし、防錆油などをウエスにしみこませ本体の表面をふいてから保管してください。保管する時はナイロンシートなどを用いて防塵に努めてください。
3．保管の際は以下のような場所に保管しないように注意してください。
   1）直接日光が当たる所、雨や雪のかかる所。
   2）高温・多湿・粉塵の多い所。
   3）倒れたり、落下したりするような所。
   4）お子様の手の届く所。

アフターサービス

1．保証期間はお買上げ日より 6 ヶ月です。ただし切刃については保証外です。
2．故障、修理、部品のお求めその他のお問い合わせはお買い上げ頂いた販売店もしくは当社営業課までご連絡ください。なお、誤った使い方や弊社の責任範囲外の故障につきましては、保証対象外となり実費請求する場合がありますので御了承ください。

検　査　証

この製品は、出荷検査に合格いたしました。

型　　式：

製品番号：

お願い

検査は、厳重に実施しておりますが、万一不都合の点がございました場合、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

検査日、係員印

株式会社　西田製作所　営業課　☎（075）611-1136

油圧式作業工具総合メーカー

株式会社　**西田製作所**

〒６１２－８２４７ 京都市伏見区横大路下三栖南郷 ２１

TEL 075-611-1136　FAX 075-611-4167

http://www.nishida-mfg.co.jp

E-mail　yuatsu@nishida-mfg.co.jp

2013.10